

令和5年5月17日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室
縦断調査管理官 菅沼 伸至
室長補佐 北 恭子 (内線 7473)
(担当) 出生児縦断統計業務係 (内線 7566)
(代表電話) 03(5253)1111
(直通電話) 03(3595)2321

第12回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
1 母の就業状況の変化	3 頁
2 子どもの生活の状況	
(1) 学校生活のようす	5 頁
(2) この1年間の学校行事以外の体験	6 頁
(3) 子どもの手伝いの状況	7 頁
統計表	9 頁
用語の定義	15 頁

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/syusseiji/21/index.html>)

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 22 年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察するとともに、21 世紀の初年である平成 13 年に出生した子を継続的に観察している調査との比較対照等を行うことにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の平成 22 年（2010 年）5 月 10 日から同月 24 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第 12 回調査における対象児は 12 歳（小学 6 年生）である。

3 調査の時期

令和 4 年 5 月 25 日とした。

（参考：第 1 回調査から第 6 回調査は 12 月 1 日とし、第 7 回調査以降 5 月 25 日とした。）

4 調査事項

家族の状況、子育てに関する意識、父母の就業状況、起床・就寝の状況、食事の状況、学校生活の状況等

5 調査の方法及び結果の集計

調査票の配布及び回収は郵送により行った。第 10 回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

なお、結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）において行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	配布数	回収数	回収率
第 1 回	43,767	38,554	88.1%
第 2 回	38,523	33,356	86.6%
第 3 回	37,582	32,380	86.2%
第 4 回	34,563	29,582	85.6%
第 5 回	32,830	28,161	85.8%
第 6 回	30,705	27,785	90.5%
第 7 回	29,434	25,397	86.3%
第 8 回	28,511	24,441	85.7%
第 9 回	27,397	24,204	88.3%
第 10 回	26,141	24,041	92.0%
第 11 回	25,362	23,216	91.5%
第 12 回	24,790	22,278	89.9%

7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳（小学1年生）
第8回調査	8歳（小学2年生）
第9回調査	9歳（小学3年生）
第10回調査	10歳（小学4年生）
第11回調査	11歳（小学5年生）
第12回調査	12歳（小学6年生）

注：第7回調査（7歳）は、第6回調査（5歳6か月）から1年6か月後に実施した。

- (3) 表章記号の規約

統計項目のあり得ない場合	・
比率が微少（0.05未満）の場合	0.0

- (4) 「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」と「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の結果を比較する際は、それぞれを「平成13年出生児」、「平成22年出生児」としている。
なお、「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」は、平成13年1月10日から同月17日の間及び7月10日から同月17日の間に出生した子を対象としたものである。
- (5) 新型コロナウイルス感染症対策（緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の実施等）に伴い、第10～12回調査は、例年とは異なる環境下の調査であった。
- (6) 本概況3～4頁「1 母の就業状況の変化」及び統計表1～2に記載している「出産1年前」、「出産半年後」の「出産」とは、調査対象である子の出産をいう。
- (7) 本概況5頁「2 子どもの生活の状況（1）学校生活のようす」及び統計表3に掲載している調査事項は、第7～10回調査までは保護者が回答し、第11～12回調査では子ども本人向けの質問として把握したため、比較には注意が必要である。

結果の概要

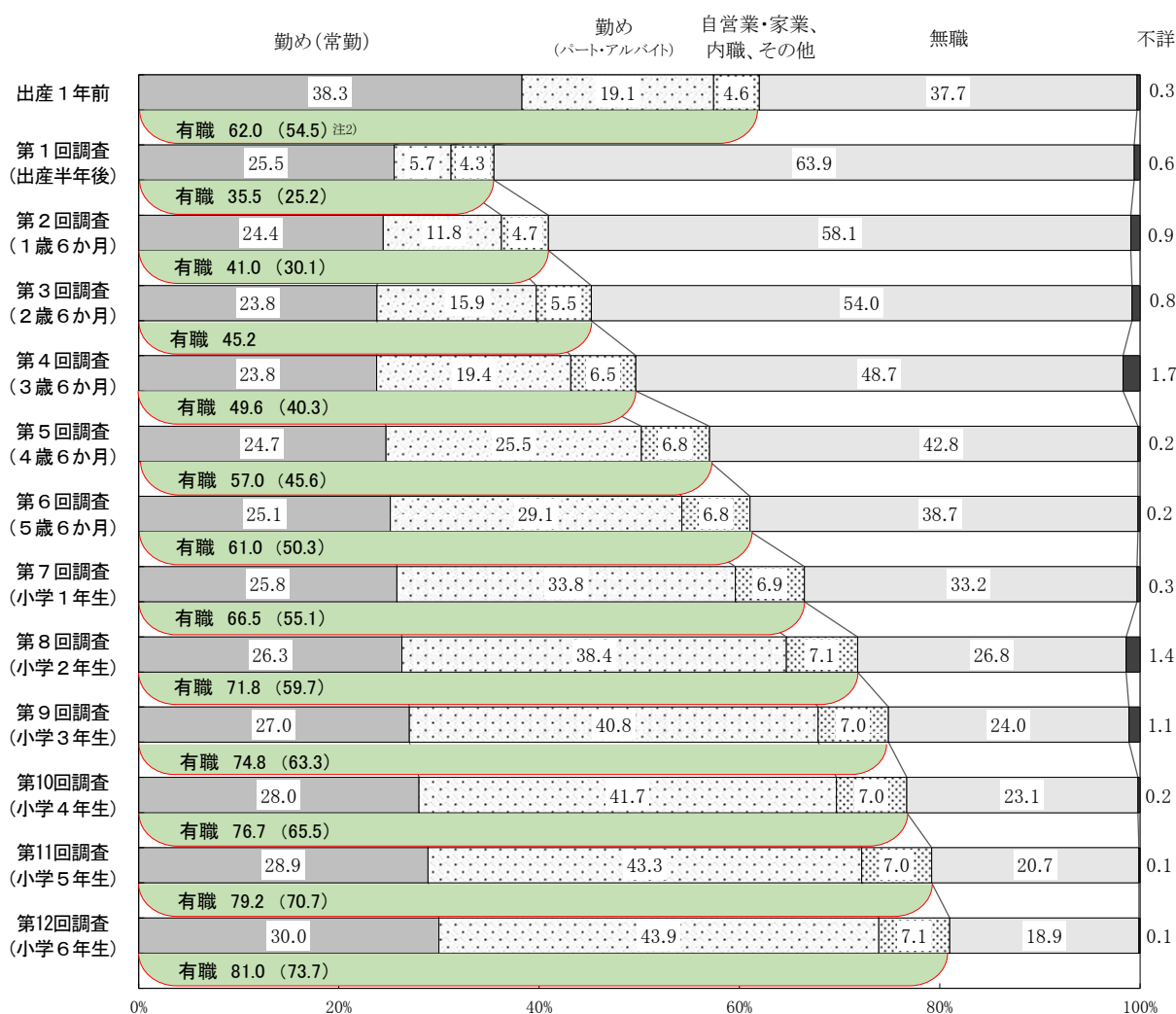
1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は第12回調査（小学6年生）で81.0%となり、平成13年出生児（第12回）の73.7%に比べて7.3ポイント高い

母が有職の割合は、出産1年前の62.0%が第1回調査（出産半年後）で35.5%に低下したが、その後は年々上昇し、第12回調査（小学6年生）では81.0%となり、平成13年出生児（第12回）の73.7%に比べて7.3ポイント高くなっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め（常勤）」の割合は、第4回調査（3歳6か月）の23.8%から第12回調査（小学6年生）の30.0%までゆるやかな上昇傾向であり、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の5.7%から年々上昇し、第12回調査（小学6年生）では43.9%となっている。（図1）

図1 母の就業状況の変化・世代間比較



注：1）平成22年出生児の第1回調査から第12回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 17,356）を集計。

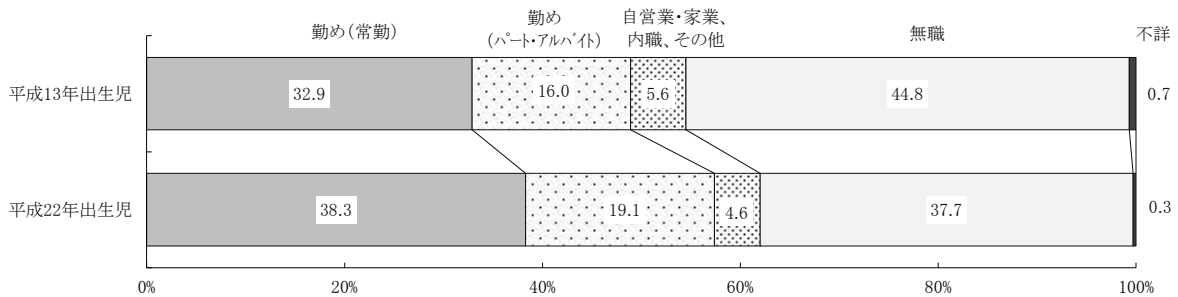
2）（ ）内の数値は、平成13年出生児の第1回調査から第12回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 27,101）を集計したものである。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母のうち、第1回調査から第12回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は、平成22年出生児では34.5%で、平成13年出生児の24.9%に比べて9.6ポイント高い

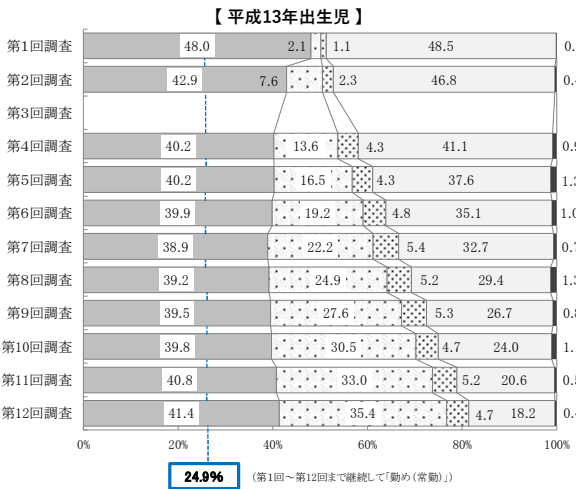
出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母について、第1回調査から第12回調査までの就業状況の変化をみると、平成22年出生児の各回における「勤め（常勤）」の母の割合は平成13年出生児よりも高い割合で推移し、さらに、第1回調査から第12回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は平成22年出生児では34.5%で、平成13年出生児の24.9%に比べて9.6ポイント高くなっている（図2）。

図2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較

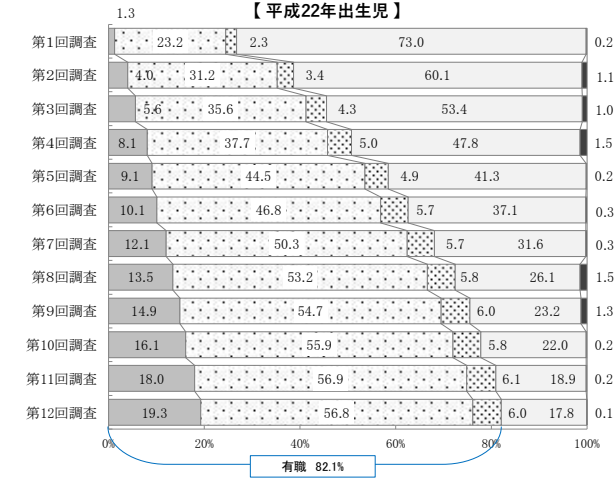
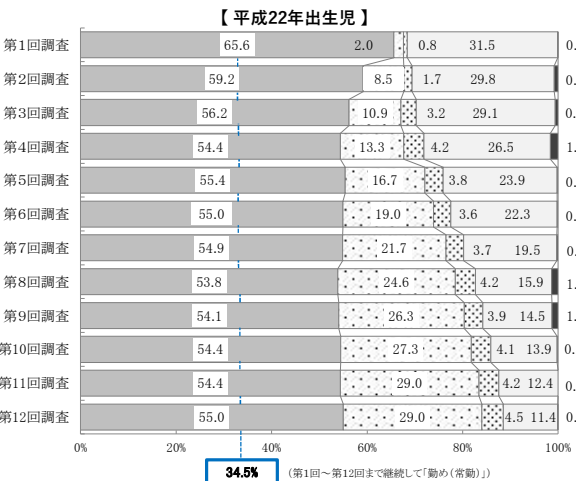
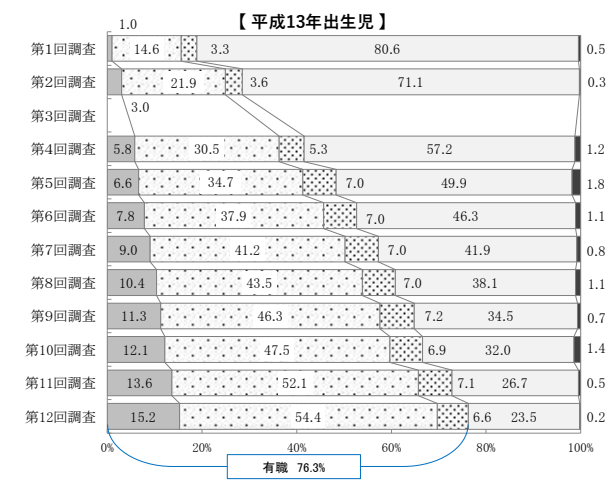
(1) 出産1年前の母の就業状況



(2) 出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母の就業状況の変化



(3) 出産1年前の就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の母の就業状況の変化



注：第1回調査から第12回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（平成13年出生児総数27,101、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」8,905、「勤め（パート・アルバイト）」4,328、平成22年出生児総数17,356、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」6,647、「勤め（パート・アルバイト）」3,309）を集計。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

2 子どもの生活の状況

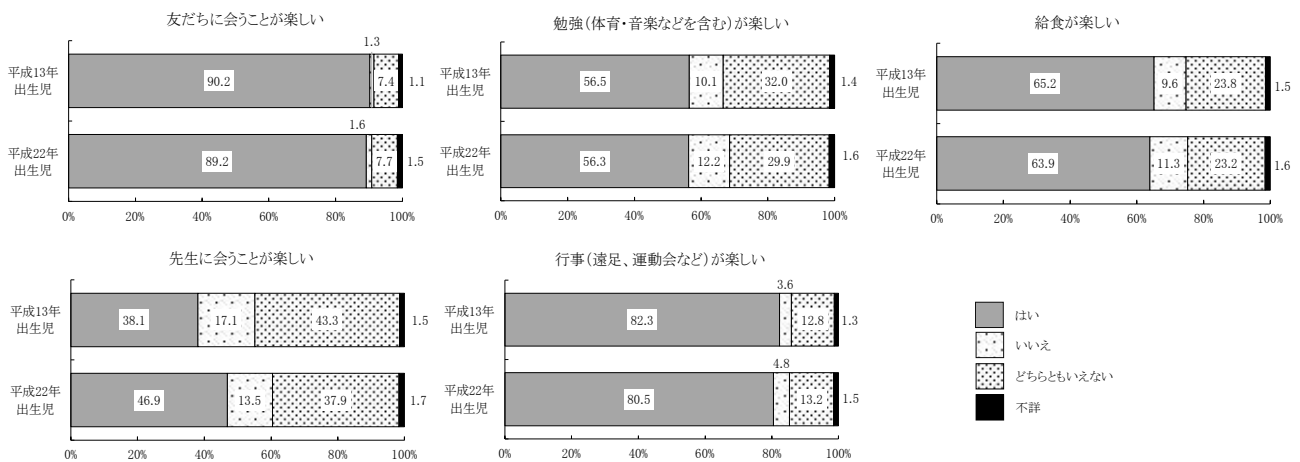
(1) 学校生活のようす

学校生活のようすをみると、平成13年出生児と同様、「友だちに会うことが楽しい」が約9割、「行事（遠足、運動会など）が楽しい」が約8割となっている

平成22年出生児について、学校生活のようすをみると、平成13年出生児と同様、「友だちに会うことが楽しい」が約9割、「行事（遠足、運動会など）が楽しい」が約8割となっている（図3）。

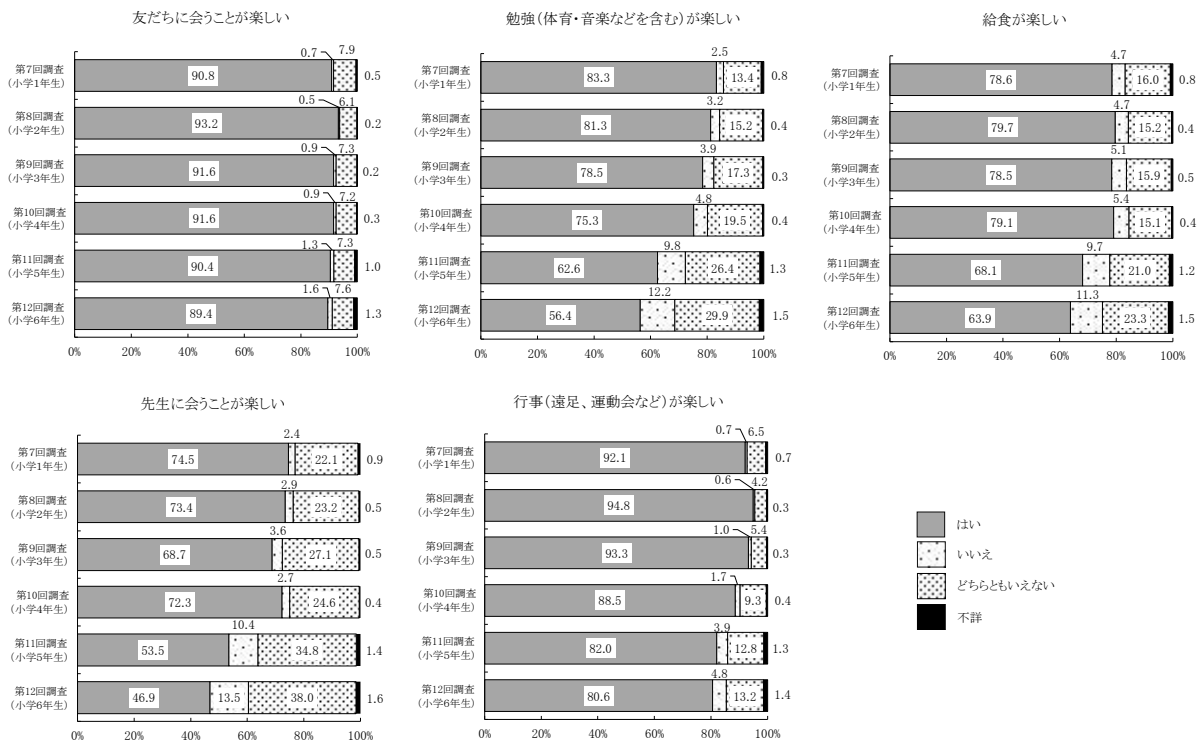
第7回調査（小学1年生）から第12回調査（小学6年生）までの学校生活のようすの変化をみると、「友だちに会うことが楽しい」は学年が上がっても9割前後となっているが、それ以外の項目では、学年が上がるにつれて、楽しいと答えた割合がおおむね低下している（図4）。

図3 学校生活のようすの世代間比較



注：第12回調査の回答を得た者（平成13年出生児総数32,065、平成22年出生児総数22,278）を集計。

図4 学校生活のようすの変化



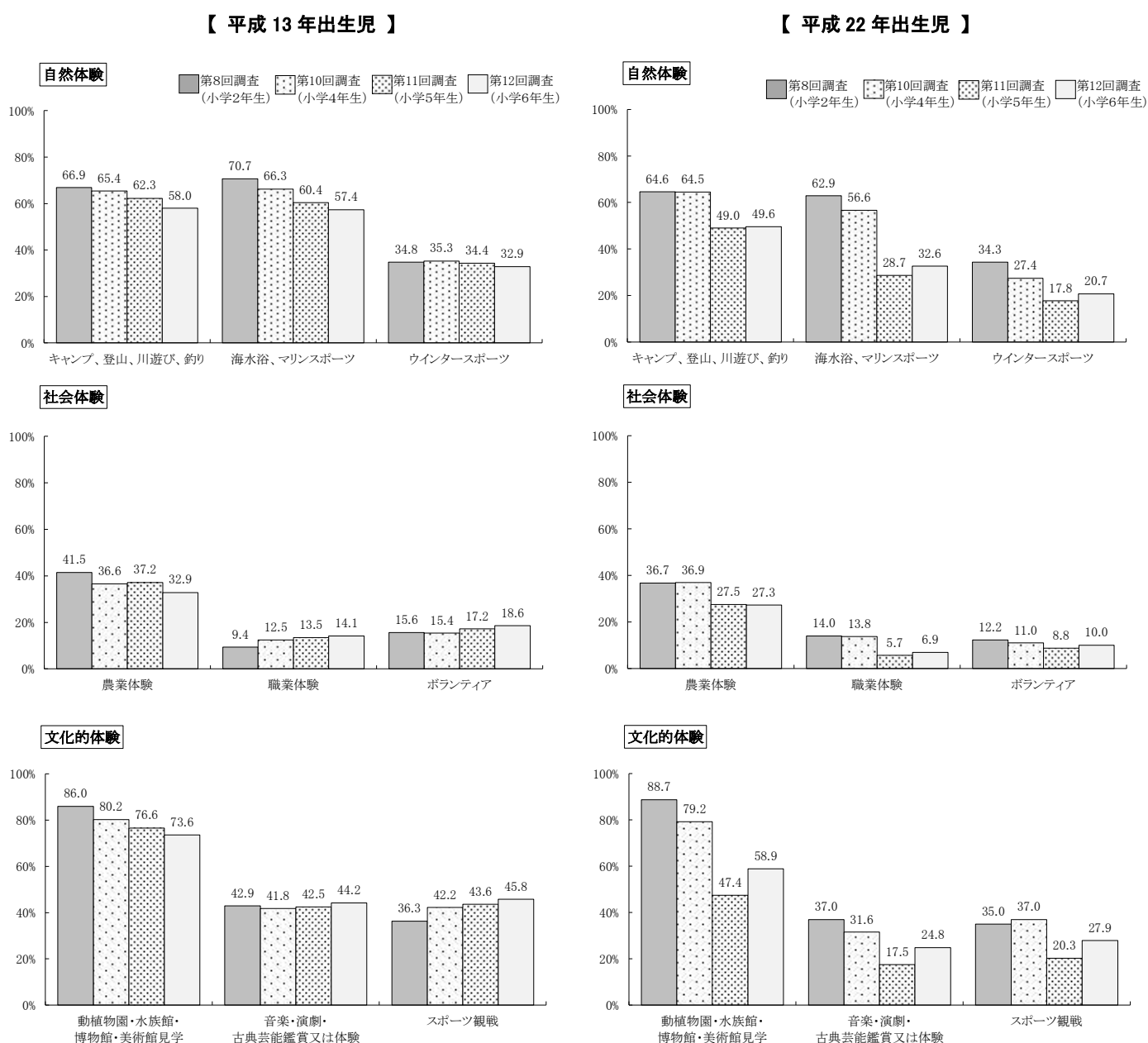
注：第7回調査から第12回調査まですべて回答を得た者（総数18,924）を集計。

(2) この1年間の学校行事以外の体験

この1年間に学校行事以外の体験を1回以上した割合は、おおむね前回（第11回）調査に比べて上昇している

第8回調査（小学2年生）及び第10回調査（小学4年生）から第12回調査（小学6年生）までの「この1年間に学校行事以外の体験を1回以上体験した割合」の変化をみると、平成13年出生児では、体験の種類ごとにおおむね上昇又は低下する傾向があるが、平成22年出生児では、いずれの体験も第11回調査（小学5年生）で前年（第10回調査）よりも低下し、翌年の第12回調査では、「農業体験」以外の体験で上昇している（図5）。

図5 この1年間に学校行事以外の体験を1回以上した割合の変化・世代間比較



注：第8回調査、第10回調査、第11回調査、第12回調査すべて回答を得た者（平成13年出生児総数29,782、平成22年出生児総数20,154）を集計。

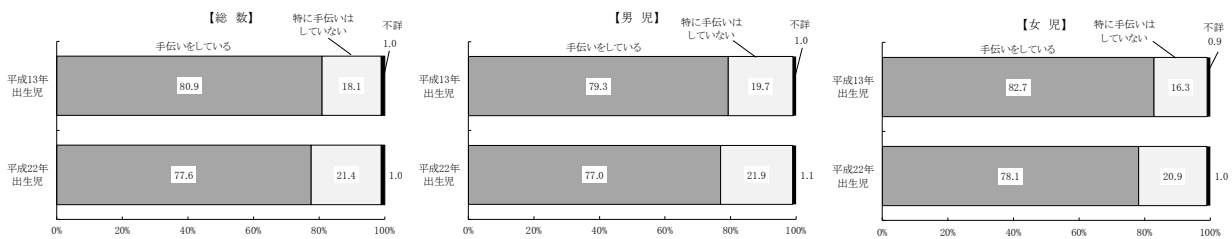
(3) 子どもの手伝いの状況

子どもが手伝いをする割合は、男児・女児ともに「部屋やお風呂などの掃除をする」「洗たく物を干したり、たたむ」の順に高い

平成22年出生児について、子どもが手伝いをする割合は77.6%と、平成13年出生児の80.9%と比べて3.3ポイント低くなっている。これを性別にみると、男児が77.0%、女児が78.1%となっている(図6)。

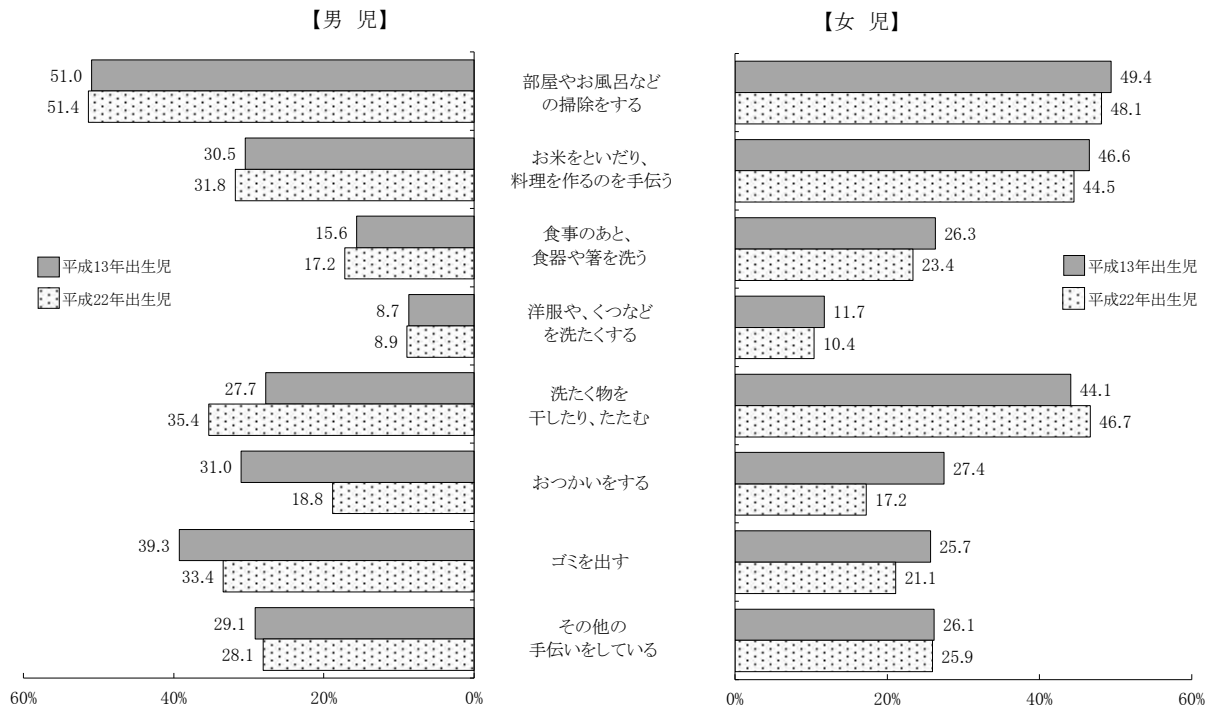
さらに手伝いの種類別(複数回答)にみると、男児・女児ともに「部屋やお風呂などの掃除をする」が最も高く、次いで「洗たく物を干したり、たたむ」が高くなっている。また、平成13年出生児と比べると、男児・女児ともに「洗たく物を干したり、たたむ」が最も上昇し、「おつかいをする」が最も低下している。(図7)

図6 子どもの手伝いの状況の世代間比較



注：1) 第12回調査の回答を得た者(平成13年出生児総数32,065、男児16,591、女児15,474、平成22年出生児総数22,278、男児11,418、女児10,860)を集計。
2) 「手伝いをしている」は、子どもの「手伝いの種類」に回答ありの者である。

図7 性・手伝いの種類(複数回答)別にみた子どもの手伝いの状況

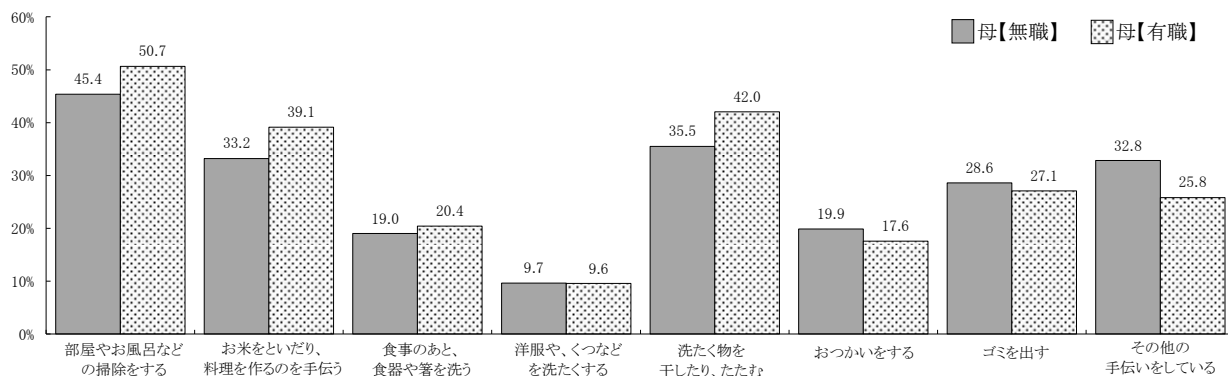


注：第12回調査の回答を得た者のうち、子どもの「手伝いの種類」に回答ありの者(平成13年出生児男児13,152、女児12,801、平成22年出生児男児8,793、女児8,484)を集計。

母が「有職」の場合、「洗たく物を干したり、たたむ」「お米をといだり、料理を作るのを手伝う」等の割合が、「無職」の場合よりも高い

平成 22 年出生児について、母の就業の有無・手伝いの種類（複数回答）別にみると、母が「有職」の場合、「洗たく物を干したり、たたむ」「お米をといだり、料理を作るのを手伝う」等の割合が、「無職」の場合よりも高くなっている（図 8）。

図 8 母の就業の有無・手伝いの種類（複数回答）別にみた子どもの手伝いの状況

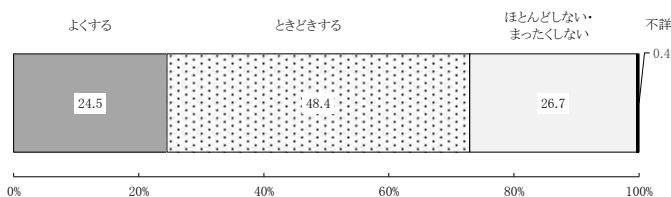


注：第 12 回調査の回答を得た者のうち、母と同居しており、子どもの「手伝いの種類」に回答ありの者（母無職 3,011、母有職 14,118）を集計。

父の家事の状況が「よくする」「ときどきする」の方が、「ほとんどしない・まったくしない」場合よりも高くなっている手伝いが多い

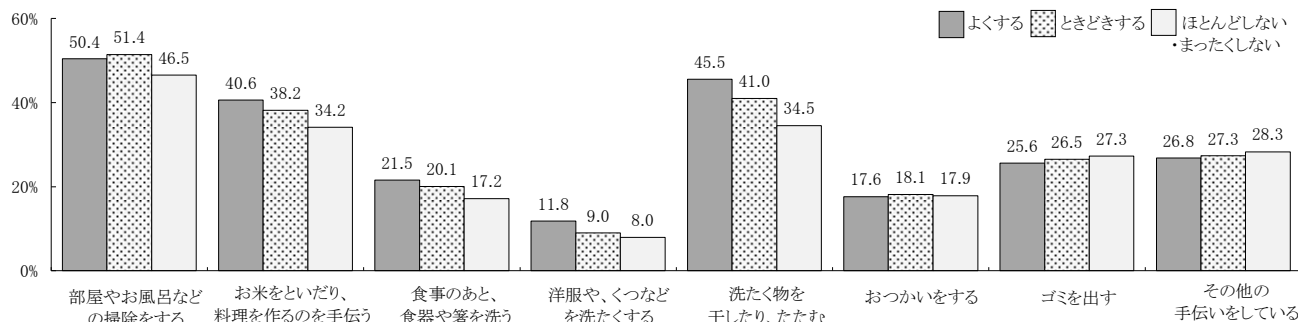
平成 22 年出生児について、父の家事の状況をみると「よくする」が 24.5%、「ときどきする」が 48.4%となっている（図 9）。また、子どもが手伝いをする割合を父の家事の状況・手伝いの種類（複数回答）別にみると、父の家事の状況が「よくする」「ときどきする」の方が、「ほとんどしない・まったくしない」場合よりも高くなっている手伝いが多い（図 10）。

図 9 父の家事の状況



注：第 12 回調査の回答を得た者のうち、父と同居している者（総数 20,363）を集計。

図 10 父の家事の状況・手伝いの種類（複数回答）別にみた子どもの手伝いの状況



注：第 12 回調査の回答を得た者のうち、父と同居しており、子どもの「手伝いの種類」に回答ありの者（父の家事の状況「よくする」4,044、「ときどきする」7,777、「ほとんどしない・まったくしない」3,909）を集計。

統計表

統計表1 母の就業状況の変化・世代間比較（3頁図1）

（単位：人）

就業状況 調査回	平成22年出生児						平成13年出生児	
	総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳	総数	有職
出産1年前	17 356	6 647	3 309	803	6 544	53	27 101	14 759
第1回調査(出産半年後)	17 356	4 429	993	743	11 094	97	27 101	6 816
第2回調査	17 356	4 233	2 054	821	10 087	161	27 101	8 147
第3回調査	17 356	4 125	2 756	962	9 377	136	27 101	・
第4回調査	17 356	4 128	3 359	1 130	8 451	288	27 101	10 924
第5回調査	17 356	4 295	4 424	1 175	7 424	38	27 101	12 365
第6回調査	17 356	4 358	5 046	1 188	6 724	40	27 101	13 620
第7回調査	17 356	4 485	5 858	1 205	5 763	45	27 101	14 920
第8回調査	17 356	4 565	6 663	1 232	4 652	244	27 101	16 182
第9回調査	17 356	4 693	7 080	1 217	4 167	199	27 101	17 166
第10回調査	17 356	4 860	7 233	1 218	4 007	38	27 101	17 738
第11回調査	17 356	5 023	7 508	1 211	3 594	20	27 101	19 150
第12回調査	17 356	5 204	7 622	1 225	3 285	20	27 101	19 972

注：第1回調査から第12回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。
なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表 2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較（4頁図2）

（単位：人）

調査回	就業状況	総数	勤め (常勤)	勤め(パート・ アルバイト)	自営業・家業、 内職、その他	無職	不詳	(再掲) 第1回調査から 第12回調査まで 継続して「勤め (常勤)」の母
(1) 出産1年前の母の就業状況								
	平成13年出生児	27 101	8 905	4 328	1 526	12 147	195	
	平成22年出生児	17 356	6 647	3 309	803	6 544	53	
(2) 出産1年前の就業状況が「勤め(常勤)」の母の就業状況の変化								
	平成13年出生児							
	第1回調査	8 905	4 278	188	102	4 321	16	・
	第2回調査	8 905	3 821	677	202	4 167	38	・
	第3回調査	8 905	・	・	・	・	・	・
	第4回調査	8 905	3 577	1 213	379	3 659	77	・
	第5回調査	8 905	3 582	1 472	385	3 346	120	・
	第6回調査	8 905	3 554	1 711	423	3 126	91	・
	第7回調査	8 905	3 467	1 981	480	2 916	61	・
	第8回調査	8 905	3 490	2 221	466	2 615	113	・
	第9回調査	8 905	3 519	2 458	474	2 381	73	・
	第10回調査	8 905	3 543	2 715	415	2 137	95	・
	第11回調査	8 905	3 629	2 939	463	1 833	41	・
	第12回調査	8 905	3 687	3 150	417	1 618	33	2 216
	平成22年出生児							
	第1回調査	6 647	4 358	136	52	2 097	4	・
	第2回調査	6 647	3 934	563	116	1 984	50	・
	第3回調査	6 647	3 734	723	213	1 936	41	・
	第4回調査	6 647	3 615	882	281	1 764	105	・
	第5回調査	6 647	3 684	1 107	255	1 590	11	・
	第6回調査	6 647	3 654	1 262	237	1 479	15	・
	第7回調査	6 647	3 647	1 442	244	1 297	17	・
	第8回調査	6 647	3 578	1 637	281	1 060	91	・
	第9回調査	6 647	3 595	1 745	257	961	89	・
	第10回調査	6 647	3 616	1 814	274	927	16	・
	第11回調査	6 647	3 618	1 927	277	822	3	・
	第12回調査	6 647	3 655	1 929	298	758	7	2 291
(3) 出産1年前の就業状況が「勤め(パート・アルバイト)」の母の就業状況の変化								
	平成13年出生児							
	第1回調査	4 328	45	631	141	3 489	22	
	第2回調査	4 328	132	946	157	3 079	14	
	第3回調査	・	・	・	・	・	・	
	第4回調査	4 328	252	1 320	229	2 474	53	
	第5回調査	4 328	287	1 501	301	2 160	79	
	第6回調査	4 328	339	1 640	301	2 002	46	
	第7回調査	4 328	391	1 785	305	1 812	35	
	第8回調査	4 328	449	1 881	301	1 648	49	
	第9回調査	4 328	488	2 005	313	1 491	31	
	第10回調査	4 328	525	2 057	298	1 386	62	
	第11回調査	4 328	588	2 257	306	1 157	20	
	第12回調査	4 328	659	2 356	287	1 017	9	
	平成22年出生児							
	第1回調査	3 309	42	768	76	2 416	7	
	第2回調査	3 309	133	1 034	114	1 990	38	
	第3回調査	3 309	186	1 178	143	1 768	34	
	第4回調査	3 309	267	1 247	164	1 581	50	
	第5回調査	3 309	301	1 473	163	1 365	7	
	第6回調査	3 309	334	1 550	190	1 226	9	
	第7回調査	3 309	401	1 666	187	1 044	11	
	第8回調査	3 309	446	1 761	191	862	49	
	第9回調査	3 309	492	1 809	197	769	42	
	第10回調査	3 309	533	1 849	191	729	7	
	第11回調査	3 309	594	1 882	201	626	6	
	第12回調査	3 309	638	1 881	199	589	2	

注：第1回調査から第12回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表3 学校生活のようすの世代間比較（5頁図3）

(単位:人)

	総数	はい	いいえ	どちらとも いえない	不詳
友達に会うことが楽しい					
平成13年出生児	32 065	28 928	429	2 368	340
平成22年出生児	22 278	19 872	358	1 723	325
勉強(体育・音楽などを含む)が楽しい					
平成13年出生児	32 065	18 113	3 236	10 276	440
平成22年出生児	22 278	12 546	2 717	6 658	357
給食が楽しい					
平成13年出生児	32 065	20 897	3 065	7 633	470
平成22年出生児	22 278	14 228	2 519	5 176	355
先生に会うことが楽しい					
平成13年出生児	32 065	12 220	5 495	13 871	479
平成22年出生児	22 278	10 451	3 009	8 445	373
行事(遠足、運動会など)が楽しい					
平成13年出生児	32 065	26 378	1 167	4 093	427
平成22年出生児	22 278	17 937	1 059	2 945	337

注：第12回調査の回答を得た者を集計。

統計表4 学校生活のようすの変化（5頁図4）

(単位:人)

	総数	はい	いいえ	どちらとも いえない	不詳
友達に会うことが楽しい					
第7回調査	18 924	17 189	133	1 500	102
第8回調査	18 924	17 634	100	1 145	45
第9回調査	18 924	17 335	165	1 378	46
第10回調査	18 924	17 327	178	1 359	60
第11回調査	18 924	17 108	247	1 388	181
第12回調査	18 924	16 926	305	1 442	251
勉強(体育・音楽などを含む)が楽しい					
第7回調査	18 924	15 770	474	2 537	143
第8回調査	18 924	15 376	608	2 869	71
第9回調査	18 924	14 848	735	3 275	66
第10回調査	18 924	14 252	902	3 698	72
第11回調査	18 924	11 837	1 860	4 990	237
第12回調査	18 924	10 677	2 317	5 651	279
給食が楽しい					
第7回調査	18 924	14 874	884	3 021	145
第8回調査	18 924	15 084	891	2 867	82
第9回調査	18 924	14 852	973	3 011	88
第10回調査	18 924	14 967	1 023	2 851	83
第11回調査	18 924	12 880	1 844	3 977	223
第12回調査	18 924	12 089	2 147	4 411	277
先生に会うことが楽しい					
第7回調査	18 924	14 101	458	4 189	176
第8回調査	18 924	13 899	543	4 396	86
第9回調査	18 924	13 010	685	5 127	102
第10回調査	18 924	13 684	502	4 654	84
第11回調査	18 924	10 117	1 963	6 584	260
第12回調査	18 924	8 876	2 562	7 192	294
行事(遠足、運動会など)が楽しい					
第7回調査	18 924	17 430	138	1 223	133
第8回調査	18 924	17 943	122	797	62
第9回調査	18 924	17 659	186	1 019	60
第10回調査	18 924	16 757	331	1 758	78
第11回調査	18 924	15 524	733	2 425	242
第12回調査	18 924	15 246	917	2 495	266

注：第7回調査から第12回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表5 この1年間に学校行事以外の体験を1回以上した割合の変化・世代間比較
(6頁図5)

(単位:人)

	平成13年出生児		平成22年出生児	
	総数	1回以上	総数	1回以上
自然体験				
キャンプ、登山、川遊び、釣り				
第8回調査	29 782	19 928	20 154	13 014
第10回調査	29 782	19 488	20 154	12 999
第11回調査	29 782	18 568	20 154	9 875
第12回調査	29 782	17 259	20 154	10 004
海水浴、マリンスポーツ				
第8回調査	29 782	21 055	20 154	12 676
第10回調査	29 782	19 738	20 154	11 411
第11回調査	29 782	17 994	20 154	5 792
第12回調査	29 782	17 108	20 154	6 572
ウインタースポーツ				
第8回調査	29 782	10 366	20 154	6 915
第10回調査	29 782	10 506	20 154	5 531
第11回調査	29 782	10 255	20 154	3 584
第12回調査	29 782	9 801	20 154	4 170
社会体験				
農業体験				
第8回調査	29 782	12 355	20 154	7 404
第10回調査	29 782	10 888	20 154	7 427
第11回調査	29 782	11 088	20 154	5 543
第12回調査	29 782	9 791	20 154	5 506
職業体験				
第8回調査	29 782	2 809	20 154	2 812
第10回調査	29 782	3 730	20 154	2 780
第11回調査	29 782	4 016	20 154	1 154
第12回調査	29 782	4 196	20 154	1 387
ボランティア				
第8回調査	29 782	4 649	20 154	2 461
第10回調査	29 782	4 597	20 154	2 215
第11回調査	29 782	5 113	20 154	1 779
第12回調査	29 782	5 540	20 154	2 015
文化的体験				
動植物園・水族館・博物館・美術館見学				
第8回調査	29 782	25 603	20 154	17 879
第10回調査	29 782	23 876	20 154	15 958
第11回調査	29 782	22 815	20 154	9 550
第12回調査	29 782	21 907	20 154	11 865
音楽・演劇・古典芸能鑑賞又は体験				
第8回調査	29 782	12 782	20 154	7 448
第10回調査	29 782	12 462	20 154	6 363
第11回調査	29 782	12 667	20 154	3 533
第12回調査	29 782	13 155	20 154	5 006
スポーツ観戦				
第8回調査	29 782	10 810	20 154	7 061
第10回調査	29 782	12 563	20 154	7 463
第11回調査	29 782	12 994	20 154	4 084
第12回調査	29 782	13 632	20 154	5 615

注：第8回調査、第10回調査、第11回調査、第12回調査すべて回答を得た者を集計。

統計表6 子どもの手伝いの状況の世代間比較（7頁図6）

（単位：人）

	総数	手伝いを している	特に手伝いは していない	不詳
総数				
平成13年出生児	32 065	25 953	5 796	316
平成22年出生児	22 278	17 277	4 773	228
男児				
平成13年出生児	16 591	13 152	3 268	171
平成22年出生児	11 418	8 793	2 503	122
女児				
平成13年出生児	15 474	12 801	2 528	145
平成22年出生児	10 860	8 484	2 270	106

注：1) 第12回調査の回答を得た者を集計。

2) 「手伝いをしている」は、子どもの「手伝いの種類」に回答ありの者である。

統計表7 性・手伝いの種類（複数回答）別にみた子どもの手伝いの状況（7頁図7）

（単位：人）

	男児		女児	
	平成13出生児	平成22年出生児	平成13出生児	平成22年出生児
手伝いをしている	13 152	8 793	12 801	8 484
手伝いの種類（複数回答）				
部屋やお風呂などの掃除をする	6 702	4 517	6 323	4 084
お米をといだり、料理を作るのを手伝う	4 007	2 796	5 959	3 778
食事のあと、食器や箸を洗う	2 055	1 512	3 368	1 983
洋服や、くつなどを洗たくする	1 143	785	1 503	882
洗たく物を干したり、たたむ	3 645	3 109	5 648	3 960
おつかいをする	4 081	1 656	3 513	1 462
ゴミを出す	5 164	2 937	3 286	1 792
その他の手伝いをしている	3 833	2 470	3 347	2 200

注：第12回調査の回答を得た者のうち、子どもの「手伝いの種類」に回答ありの者を集計。

統計表 8 母の就業の有無・手伝いの種類（複数回答）別にみた子どもの手伝いの状況
（8 頁図 8）

(単位:人)

	無職	有職
手伝いをしている	3 011	14 118
手伝いの種類(複数回答)		
部屋やお風呂などの掃除をする	1 367	7 154
お米をといだり、料理を作るのを手伝う	1 000	5 524
食事のあと、食器や箸を洗う	573	2 885
洋服や、くつなどを洗たくする	291	1 352
洗たく物を干したり、たたむ	1 069	5 933
おつかいをする	598	2 480
ゴミを出す	862	3 825
その他の手伝いをしている	988	3 646

注：第 12 回調査の回答を得た者のうち、母と同居しており、子どもの「手伝いの種類」に回答ありの者を集計。

統計表 9 父の家事の状況（8 頁図 9）

(単位:人)

	総数	よくする	ときどきする	ほとんどしない・ まったくしない	不詳
父の家事	20 363	4 993	9 860	5 429	81

注：第 12 回調査の回答を得た者のうち、父と同居している者を集計。

統計表 10 父の家事の状況・手伝いの種類（複数回答）別にみた子どもの手伝いの状況
（8 頁図 10）

(単位:人)

	よくする	ときどきする	ほとんどしない・ まったくしない
手伝いをしている	4 044	7 777	3 909
手伝いの種類(複数回答)			
部屋やお風呂などの掃除をする	2 037	3 998	1 819
お米をといだり、料理を作るのを手伝う	1 641	2 971	1 335
食事のあと、食器や箸を洗う	871	1 560	671
洋服や、くつなどを洗たくする	478	699	312
洗たく物を干したり、たたむ	1 841	3 188	1 347
おつかいをする	712	1 410	699
ゴミを出す	1 035	2 063	1 067
その他の手伝いをしている	1 083	2 126	1 105

注：第 12 回調査の回答を得た者のうち、父と同居しており、子どもの「手伝いの種類」に回答ありの者を集計。

用語の定義

(1) 同居者

次の者は含まない。

- ① 長期（おおむね3か月以上）にわたって不在にしている者。
 - ② 現在不在で不在期間が長期にわたることがわかっている者。
- ただし、①、②の者で途中定期的に帰宅する者は同居者としている。

(2) 就業状況

「有職」

勤め（常勤）、勤め（パート・アルバイト）、自営業・家業、内職、その他を合わせたもの。
育児休業中等の休業を含む。

「勤め（常勤）」

事業所の所定労働時間を通じて勤務する者。

「勤め（パート・アルバイト）」

同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない者。

「無職」

家事（専業）、無職、学生を合わせたもの。

(3) 父の家事

食事の準備・片付け、掃除、洗濯など